

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 月・4	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	キャリア概論 Introduction to Career Development		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 総合科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/ TEL/オフィスアワー 担当教員(科目責任者):管原正志 /Eメールアドレス:sugahara@nagasaki-u.ac.jp/研究室:教育学部 207 /TEL:095-819-2355/オフィスアワー			
担当教員(オムニバス科目等)	浜 民夫(Email: bxu01050@nifty.com)、古藤隆久、内田昭宏、土山 勇、小嶋紀博、徳田 剛、板藤 昭		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>授業のねらい: 皆それぞれによって、「自分は大学で何を学び何を研究し、将来それをどう活かすか」を思考し、自己実現、自己完成に向けての切掛となるヒントを得ることを目的とする。</p> <p>授業方法:この授業では、最前線で活躍している官庁人や産業人やNPOそして就職支援企業の講師が、経験、体験等に基づき、企業や官庁、仕事や職業を取り巻く、業界事情や経済環境そして労働法制やその考え方についての講義を行う。</p> <p>授業到達目標: 皆さんはやがて職業を持ち、社会的にも経済的にも自立して、職業生涯を送ることになる。学園生活から社会に軟着陸するために必要な、職業や仕事のことなどの、社会人としての基礎について学ぶ。</p>			
授業内容(概要)/授業内容			
		概 要	担当者
1	9/29	仕事とは、何故就職するのか、仕事に就くことの意義～ニート・フリーター研究1～	浜 民夫*1
2	10/6	企業が求める人材	古藤隆久 *2
3	10/20	「働く」とは何か～公務の仕事から考える	内田昭宏*3
4	10/27	国際化・規制緩和時代に	土山 勇*4
5	11/10	企業や組織をどう判断するか、視野を広げる方法 企業と職業	小嶋紀博*5
6	11/17	労働法制～労働者は法によりどのように護られているか	徳田 剛*6
7	12/ 1	仕事や職業や産業のことを知ろう～インターンシップの必要～ニート・フリーター研	浜 民夫
8	12/ 8	全般を振り返っての意見交換会	全員
9	12/15	自分に合った企業や職業の選択基準	古藤隆久
10	12/22	今、働く現場の状況について	板藤 昭*7
11	1/19	自己分析(求職活動スケジュール全体から知る、早期の自己理解の重要性)	土山 勇
12	1/26	産業情報、企業情報の研究方法	古藤隆久
13	2/ 2	多様化する採用方法、大卒の採用状況と今後の計画	小嶋紀博
14	2/ 3	自己表現(今後様々な場面で求められる自己アピール・様々な立場の人から学ぶ)	土山 勇
15	2/9	地方の時代を迎え～地元産業・地元企業の研究 まとめ	小嶋紀博 浜 民夫
*1:若者自立支援長崎ネットワーク代表・元長崎大学環境科学部教授 *2:(株)リクルート狭域HRカンパニー統括室 事業推進グループGM *3:長崎労働局局長 *4:(株)毎日コミュニケーションズ九州支社 *5:(株)ディスコ *6:長崎労働局総務部長 *7 長崎労働局労働基準部長			
キーワード	職業、仕事、進路、社会人基礎、自主自立		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しないが、授業計画に沿ってパワーポイント、OHP、ビデオ等を使用し、プリント、資料を配付する。参考書は適宜紹介する。		
成績評価の方法・基準等	全15回の課題レポートの平均点を考慮して行う。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			